

タイトル「在宅療養の現状を知って、急変時の対応を準備しよう」

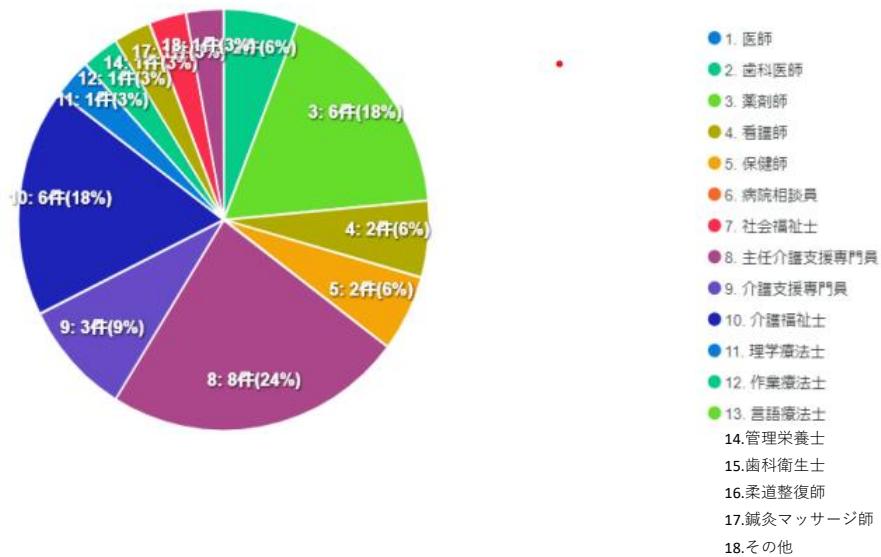
回答数 34人/52人

回収率

65%

1. 参加者の職種

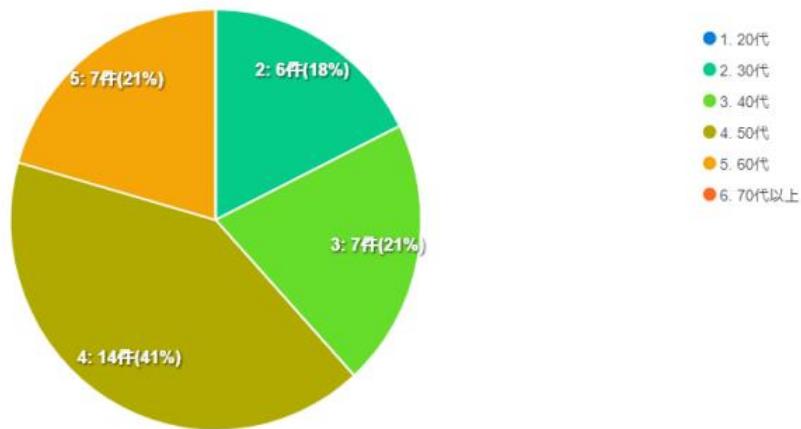
職種をお答えください。主なもの一つ。



- 18職種が参加

2. 参加者の年代

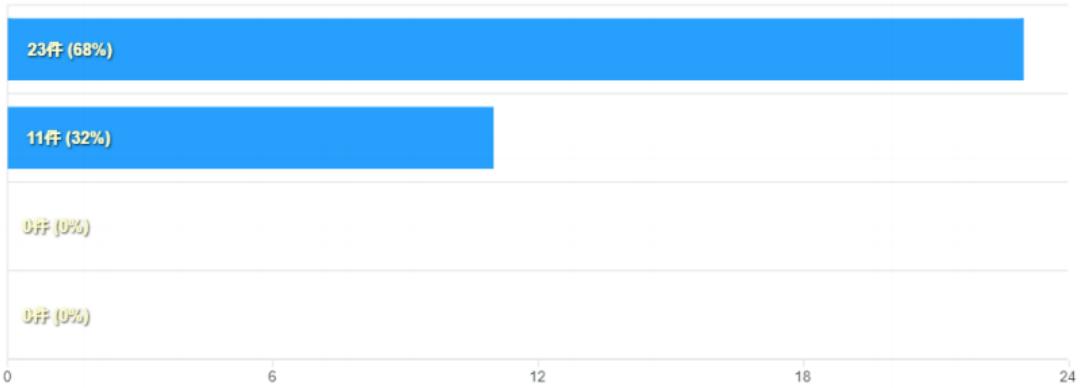
ご参加された方の年代を教えてください



- 参加者の4割が50歳代となっている。

3.研修内容について（講話について）

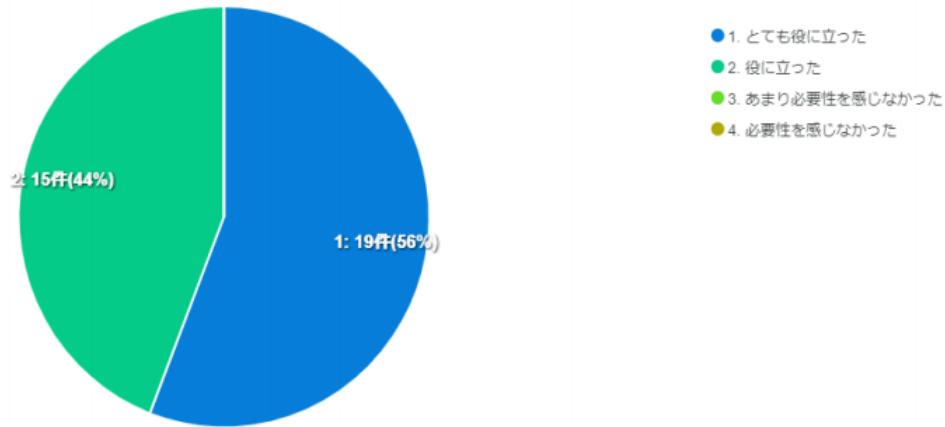
本日の講話「在宅医療と救急」について理解できましたか（当てはまるもの一つ）※さらに聞きたいことがある場合は、その他を選び記入してください。



- ・「理解できた」「概ね理解できた」で100%となっている。

4.研修内容について（グループワーク）

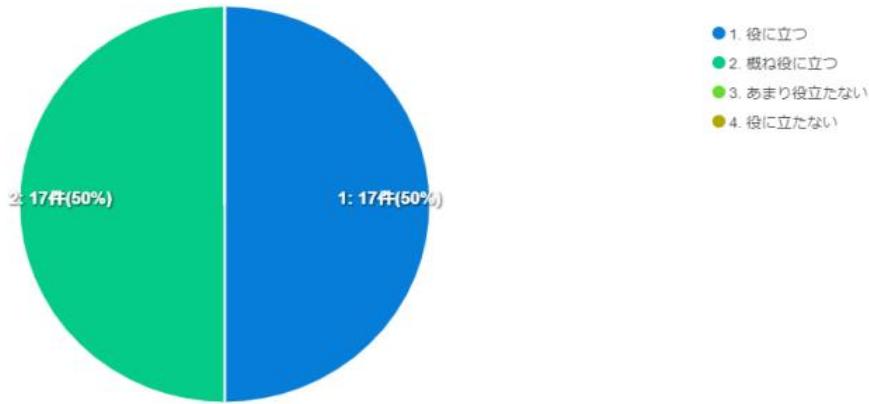
本日のグループワークはいかがでしたか（当てはまるもの一つ）



- ・対応が難しかったケースを提供し、グループワーク・発表を行った。
- ・「とても役に立った」「役に立った」で100%となっている。

5.実務に役立つかどうか

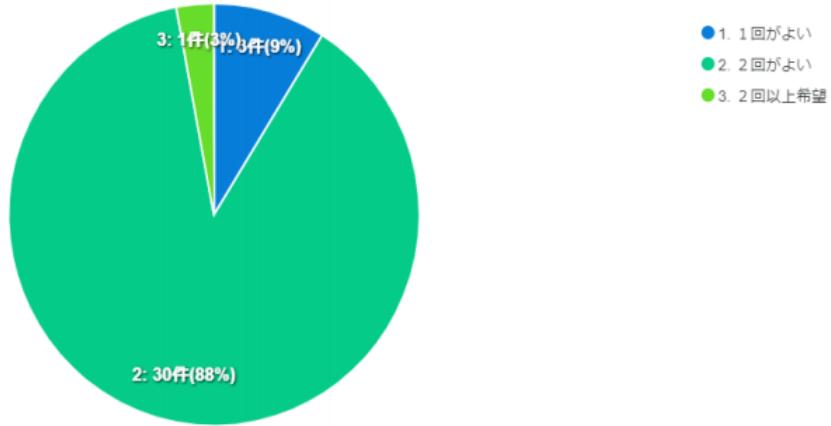
この研修は実務で役立ちそうですか（当てはまるもの一つ）



- ・「役に立つ」「概ね役に立つ」で100%となっている。

6.研修を2部構成で行ったことについて

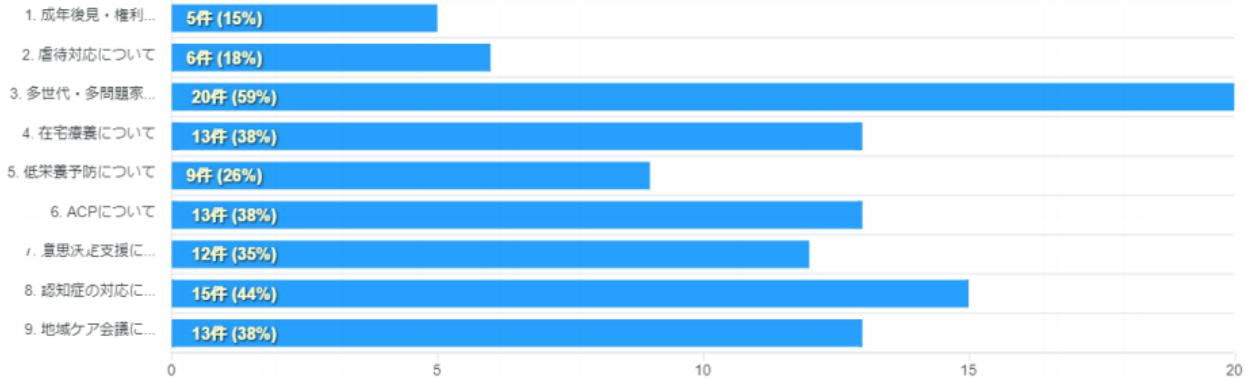
今年度の研修は第1回、第2回の2部構成でしたがいかがでしたか。



- 「1日にまとまっている方が良い。」「多職種の話を聞ける機会が多い方が良い。」などの意見はあるが、「2回が良い」が最多となっている。

7.今後の研修の内容について

日ごろ業務を遂行するなかで、多職種研修で受講したいと思う研修を教えてください（複数選択可）※ぜひ具体的な内容の記入をお願いいたします



まとめ

支援された方は大変だが、本人達には良かったのではないかというケースだった。

ACPがあると支援者にも本人達にも良い。

ケースについて、多摩消防署から意見をいただき研修の場で共有することができた。